

(案)

令和 7 年 月 日

阿賀野市長 加 藤 博 幸 様

阿賀野市行政改革推進委員会
委員長 伊 藤 閲 男

答 申

令和 6 年 10 月 3 日に貴職より諮問を受けた事項について調査審議を行い、その結果を下記のとおり取りまとめましたので、答申します。

貴職におかれましては、本答申を十分に考慮され、適正で効率的な事業が推進されていくことを心より期待します。

記

1 阿賀野市行政改革推進計画における実行計画の進捗管理について

実行計画の進捗状況についておおむね妥当と認めます。

ただし、一部の事業において取組の遅れが認められますので、速やかな取組を求めます。

なお、個別の事業に関する意見は別紙 1 のとおりです。

2 阿賀野市公共施設等総合管理計画における第 1 期個別施設計画（アクションプラン）の進捗管理について

市民共有の財産である公共施設の有効活用、適切な維持管理、あるいはその存続・廃止については、施設毎の明確な方針及び目標設定に基づき進める必要があります。令和 5 年度 of 取組実績等を審議した結果、おおむね妥当であると認めますが、一部施設に取組の遅れが見られます。

施設の在り方について、早期に方針を示し、周知、議論する時間を十分にとることが必要です。方針の検討に際しては、施設利用者や関係者等の意見をくみ取

り、ニーズや取組の必要性を明確にして認識にずれがないか共有し、官民協働で取り組んでいくことが重要と考えます。

更なる利用者増を図るためには、施設間連携の取組が有効と考えられることから、部署横断的に施設活用の議論を進めることを望みます。また、施設全般において、子どもが行って楽しめるものを整備し、子育て世代の利用を促進する視点も有効と考えます。

なお、個別の施設に関する意見は別紙２のとおりです。

3 阿賀野市行政改革推進計画（次期計画）について

人口減少や少子高齢化が深刻化し、社会環境も変化する中、複雑かつ多様化する市の課題に対応するため、本計画は適当であると認めます。

なお、今後の取組は、審議過程において出された以下の意見等を反映されることを要望します。

- （１）本計画が包含される阿賀野市総合計画のまちづくりの目標「住み良い、いきいき元気なまち」の実現に繋がるものとなるよう取組を進めること。
- （２）本計画の推進にあたっては、PDCAサイクルを用いて、チェック、見直しを図りながら進めること。

以上